



こんにちわ奥さん

with

e フィール便り



大丸エナウエイン 株式会社

「こんにちわ奥さん」係

〒559-0022
大阪市住之江区緑木1-4-39
TEL.06(6685)5101
FAX 0120-093-025

<http://living-poppo-garden.jp/>
<http://efillwater.jp/>



蛇の目傘

春雨の季節です。夏の夕立の前には長い梅雨があります。コロナを洗い流す雨はないでしょうか。ある人の言葉に「雨が降ったらどうすればいいか考えてももしかたがない。傘を差すことだ」とあります。人類の科学力も今のところ、雨天を晴天に変えることはできません。傘を差してください。

ほとんどの日本人は洋傘を使っているでしょうが、和傘にも捨てがたい魅力があります。6世紀ごろ中国から伝わった傘は日よけや魔除けとして差し掛ける開閉のできない大きなものでした。鎌倉時代に開閉する形ができ上がり、その後、自由に開閉できる和傘となりました。江戸期には蛇の目傘の生産が始まりました。蛇の目傘を改良し、庶民用として作られたのが番傘です。



歌われる雨は、情景としての叙事もありますが、叙情のほうが多いようです。悲しみ、憂鬱などを雨に託し人は歌います。北原白秋作詞の『あめふり』は、蛇の目(傘)で母さんが迎えに来てくれるから嬉しいのです。雨で嬉しさを表す歌は珍しいといえます。野口雨情作詞の『雨降りお月さん』は、叙事と叙情が融合、また月を擬人化したりして独特の情緒を生み出しています。古い童謡の雨のほうも最近のポップスの雨よりもよいように思えます。雨にかぎった

雨の物語⑦

雨と歌



海、河川、雪、霧などと同じく、雨は水の地球上でのひとつの形態です。言ってしまうえばそれだけのことなのですが、人は雨に対して何か特別な想いを抱くようです。生命に不可欠な水を供給してくれるからでしょう。理由は分かりませんが、雨には私たちの情緒を刺激する何かがあることは確かだといえます。そのことは、洋の東西を問わず雨の歌が数多くあることから推察できます。

ことではないかもしれません。雨が恐いものの象徴となる歌もあります。井伏鱒二の小説『黒い雨』は原爆投下後に降る放射性降下物を描いています。ナパーム弾の象徴とされた歌があります。米国ロックグループCCRの『雨をみたくい』では、雨はベトナム戦争で使われた無差別大量殺戮兵器であるナパーム弾であると言われました。この爆弾は、落下していく時、空気との摩擦で雨粒のように青白く光るのです。歌詞に「晴れた日に降ってくる」とあり、またアメリカ政府がこの歌を放送禁止にしたこともあって、ナパーム弾説は信じられてきました。ただ、作詞作曲者はこの説を否定しています。

恵みの雨もあれば、災害をもたらす集中豪雨もあります。歌の雨もまた多様です。

最近、工事中に誤ってガスを損傷する事故が増えています。

工事を計画、発注されたら、必ず当社までご連絡ください。



- 建物の解体を行うとき、ガスが通じているかどうか判断できないガス管があるとき



- 敷地内・建物内で新築工事を行うとき、道路や敷地内を掘削する際、くい打ち、矢板打ち並びに電柱設置などを行う場合



- 宅地内のリフォームや、カーポートなどの根掘り、基礎打ちなどについても事前連絡をお願いします。



道路掘削、敷地内での改築・解体・給排水工事の際は、**ガス管の確認を!**